

Q

堤防の建設について

A 状況を注視し国や県と連絡を密にしていく

Q 荒川左岸川本中学校南側から天神グラウンド先までの間に堤防が必要。国、県に対し堤防建設要請の考えは。

A 当該区間については、地盤が高く自然地形が堤防の役割を果たしている。堤防としての強度が人工的に盛土して造られる堤防より強固であり、周囲と比べて水害の危険性は極めて低い。今後市としては、荒川沿川の地元の皆様が安心して暮らせるよう、状況を注視し国や県と連絡を密に取りながら努めていく。

―スポーツ振興について―

Q 川本グラウンド・ゴルフ場は梅雨や秋の長雨の時には水はけが悪く長期にわたりグラウンドが使用できないが、今後の整備計画はあるか。

A 川本グラウンド・ゴルフ場は、熊谷県土整備事務所から占用許可を受け、スポーツレクリエーションの場として設置している。状況を改善するには、排水機能を高める工作物の敷設、埋設工事が必要。河川敷に



川本グラウンド・ゴルフ場

小嶋 隆

スマホはこちらから



設置のため難しい面がある。今後は梅雨や長雨時期になる前に既存の素掘り水路をしゅんせつや清掃する。

Q 素掘り側溝を深く掘り雨水を浸透させる方法はどうか。

A 効果が得られるか専門業者と相談し研究していく。

Q

収益を生み出す公共施設として活用すべき

A 先行事例を参考に最善の方策を探っていく

Q 渋沢栄一翁が、新二万円札や大河ドラマになる報道により、本市にとって、願ってもいないチャンスが到来した。市内には、栄一翁関連施設が点在しており、「見学・公開のみ」未活用の公共施設からの脱却を図り、収益を生むような活用をしていくべきと思うが、市の考えは。

A 見学・公開から一歩進んだ活用について、文化財保護を前提に、近年は、まちづくりにいかす必要もあると認識している。

Q 積極的に民間活力を導入するべきではないか。

A 民間事業者が参入してくれるよう魅力ある施設整備に注力しつつ、先行事例を参考に最善の方策を探っていく。

―健康づくり計画達成のために―

Q 市が行う特定健診や人間ドックなど、市民が積極的に健康管理に取り組める施策があるが、例えば、かかりつけ医による個別健診の導入をし、受診率の向上を図れないか。



旧渋沢邸「中の家」

五間 くみ子

スマホはこちらから



A 現在集団健診を年間100日以上実施しており、各種がん検診の同時受診が可能である。今後、身近にあるかかりつけ医で受診できることも研究してまいりたい。

Q 人間ドックの助成金がこの10年変わっていない。見直しを図ることはできないか。

A 平成22年に補助金等見直し方針に基づき毎年度、評価と検証をした額である。現在は難しい状況である。

Q

渋沢栄一関連施設の結びつきとPRは

A 今後も周遊しやすい情報提供に努める

Q 渋沢栄一関連施設を結び、見学しやすい方法や、そのPRを、どのように行っているのか。現状を含めて知りたい。

A 関連施設への案内、地図での案内、パンフレット配布、巡回バスの運行などを行い、今後も周遊しやすい情報提供に努めたい。

Q 中の家の主屋と駐車場は、どのような改修工事を予定しているのか

A プロポーザルによる事業提案を導入し、耐震性の確保とともに、改修後の活用も見据え、令和3年度末の完成を目指している。駐車場は、南側の植込み部分を改修し、駐車場台数不足を解消し、出入時の安全性を高めたい。

Q 記念館（資料室）を訪れた方々の感想と、見学者からよくある質問を知りたい。

A 偉大な業績がよく分かる。説明が分かりやすい。無料で感心した。食事処や、お土産の場所が知りたいとの声がある。



清水川のヨシ

武井 伸一

スマホはこちらから



―清水川、横瀬川のヨシの除去について―

Q 地元から多数の苦情、要望が上がっている。ヨシを取り除くことはできないか。

A 清水川については、支障を来すことがないよう、必要に応じて県に働きかけを行っていく。横瀬川は、継続的にしゅんせつ工事を実施している。今後も引き続きしゅんせつしていく。

Q

収益を生み出す公共施設として活用すべき

A 先行事例を参考に最善の方策を探っていく

Q 荒川左岸川本中学校南側から天神グラウンド先までの間に堤防が必要。国、県に対し堤防建設要請の考えは。

A 当該区間については、地盤が高く自然地形が堤防の役割を果たしている。堤防としての強度が人工的に盛土して造られる堤防より強固であり、周囲と比べて水害の危険性は極めて低い。今後市としては、荒川沿川の地元の皆様が安心して暮らせるよう、状況を注視し国や県と連絡を密に取りながら努めていく。

―スポーツ振興について―

Q 川本グラウンド・ゴルフ場は梅雨や秋の長雨の時には水はけが悪く長期にわたりグラウンドが使用できないが、今後の整備計画はあるか。

A 川本グラウンド・ゴルフ場は、熊谷県土整備事務所から占用許可を受け、スポーツレクリエーションの場として設置している。状況を改善するには、排水機能を高める工作物の敷設、埋設工事が必要。河川敷に



川本グラウンド・ゴルフ場

小嶋 隆

スマホはこちらから



設置のため難しい面がある。今後は梅雨や長雨時期になる前に既存の素掘り水路をしゅんせつや清掃する。

Q 素掘り側溝を深く掘り雨水を浸透させる方法はどうか。

A 効果が得られるか専門業者と相談し研究していく。

Q

収益を生み出す公共施設として活用すべき

A 先行事例を参考に最善の方策を探っていく

Q 渋沢栄一翁が、新二万円札や大河ドラマになる報道により、本市にとって、願ってもいないチャンスが到来した。市内には、栄一翁関連施設が点在しており、「見学・公開のみ」未活用の公共施設からの脱却を図り、収益を生むような活用をしていくべきと思うが、市の考えは。

A 見学・公開から一歩進んだ活用について、文化財保護を前提に、近年は、まちづくりにいかす必要もあると認識している。

Q 積極的に民間活力を導入するべきではないか。

A 民間事業者が参入してくれるよう魅力ある施設整備に注力しつつ、先行事例を参考に最善の方策を探っていく。

―健康づくり計画達成のために―

Q 市が行う特定健診や人間ドックなど、市民が積極的に健康管理に取り組める施策があるが、例えば、かかりつけ医による個別健診の導入をし、受診率の向上を図れないか。



旧渋沢邸「中の家」

五間 くみ子

スマホはこちらから



A 現在集団健診を年間100日以上実施しており、各種がん検診の同時受診が可能である。今後、身近にあるかかりつけ医で受診できることも研究してまいりたい。

Q 人間ドックの助成金がこの10年変わっていない。見直しを図ることはできないか。

A 平成22年に補助金等見直し方針に基づき毎年度、評価と検証をした額である。現在は難しい状況である。

Q

川本中学校に武道場の建設を

A 武道場の建設は難しいが体育館の一部整備を検討する

Q 市内の中学校で、川本中学校のほかに武道場の無い学校はあるのか。

A 川本中学校のみである。他の9中学校には武道場を整備済みである。

Q 川本中学校は、非常に柔道が盛んであるが、練習場所が確保されていない。川本中学校に武道場の建設ができないか。

A 現在、教育施設の整備は、老朽化対策に重点を置き、施設の改修に順次取り組んでいるため、川本中学校への武道場の建設は難しい。

Q 講堂の中を割愛し、武道場として整備できないか。

A 学校と協議し、体育館の一部を整備することが可能かどうか検討していきたい。

―秩父鉄道明戸駅の整備を―

Q 秩父鉄道の駅で、トイレがないのは明戸駅だけである。トイレを設置できないか。

A 明戸駅のトイレ整備については、自治会からの要望もあり、市としても秩父鉄道へ要望書を提出している。



秩父鉄道 明戸駅

永田 勝彦

スマホはこちらから



今後も、継続して要望を重ねていく。

Q 明戸駅にはホームに屋根が無く降雨時には大変苦慮している。ホームに屋根を設置できないか。

A 秩父鉄道からは、現ホームの構造上、屋根の設置は難しいと聞いている。ホームへの待合室整備が困難なため、駅舎内にベンチを設置するなど待合場所を提供している。今後も明戸駅の早期施設整備に向け、継続して強く要望を行っていく。